

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：R3年9月30日
研究課題名：茨城県における急性期脳主幹動脈閉塞に対する救急診療と施設間連携の実態調査 Ibaraki PSC collaboration Of emergency care With inter-facility transfER for Emergent Large Vessel Occlusion strokes 研究期間：倫理審査承認後～西暦2026年3月30日
研究対象：下記の条件を満たす症例を調査対象とする。 1) 年齢：20歳以上。 2) 発症後（あるいは最終健常確認時刻より）24時間以内に研究参加施設に救急搬送された患者のうち、救急隊により急性期脳主幹動脈閉塞による脳梗塞が疑われた患者、または、急性期脳主幹動脈閉塞による脳梗塞の診断が確定した患者 3) 本研究の参加施設で初療および/あるいは主たる入院加療を受けた患者 4) 2021年4月1日～2026年3月31日に入院した患者 急性期脳主幹動脈閉塞による脳梗塞患者は、脳主幹動脈（内頸動脈、前大脳動脈（A1、A2）、中大脳動脈（M1、M2）、椎骨動脈、脳底動脈、後大脳動脈（P1、P2））の急性閉塞により脳梗塞を発症した患者とする
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 本研究は、症例登録およびデータ入力、ログ管理のなされた電子的データ収集システム（Electric Data Capturing [EDC]：臨床研究支援システム）を用いて行う。） 上記材料の対象期間 西暦 2021年4月～ 2026年3月29日
意義・目的： 本研究では、茨城県における急性期脳主幹動脈閉塞の救急搬送（施設間転送を含む）、急性期診療および臨床転帰の実態を把握するとともに、臨床転帰に影響する因子を探索することで問題点を明らかにします。本研究による茨城県のELVO救急搬送体制の検証は、全県的なELVOの転帰改善を可能とする診療体制の確立に資するものです。

方法：

多施設共同後ろ向き・前向き観察研究 本研究に関与する全ての者はデータ取扱者として個人情報保護のために最大限の努力を払います。研究協力医師が EDC へデータ入力する際には、当該研究データは全て匿名化します。匿名化の方法は、当該研究参加施設において、研究開始時に被験者に症例識別コードを付し、症例識別コードと個人情報（氏名、性別、生年月日、カルテ番号）の連結表である匿名化番号対照表（付録 1, 2）は各研究参加施設内で厳重に管理します。匿名化番号対照表は研究データの照会時に被験者特定のために用いられます（連結可能匿名化）。研究で得られた情報を公表する際には、被験者が特定できないよう十分に配慮します。匿名化後、解析 PC に保存されたデータは、研究終了（学会発表、論文投稿）後も同所に保管します。報告された日から 5 年を経過した日または当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの間、適切に保管します。研究対象者が同意撤回した場合には、研究対象者が特定されない状態（匿名化した状態）で廃棄します。

問い合わせ等の連絡先：

筑波メディカルセンター病院 脳神経外科
上村和也（代表番号 029-851-3511）